

地球惑星状態物理学 II

2002 年 4 月 8 日

目標

地球および惑星の流体圏の物理状態と構造を支配している基本的な物理素過程を学ぶ。

前半 4/8 ~ 6/10 倉本 地球および惑星の流体圏の組成と鉛直構造について、構成物質の物性と状態、エネルギー収支を司る諸過程、静水圧平衡、分子運動論の観点から理解することを主眼とする。

後半 6/17 ~ 7/29 播磨屋 地球大気に焦点をしばり、まずその鉛直構造と水平構造をややくわしく概説する。それから、地球大気の熱源、鉛直と水平構造の一次的原因に関わる放射、鉛直運動、凝結と雲の形成に関わる熱力学、その結果となる雨滴や雪結晶の成長の降水形成を理解することが主となる。

教科書・資料など

- 教科書は指定しない。参考書は適宜紹介。必要な資料やレポート課題は講義時に配布。
- 講義資料・記録の一部は以下の HP に掲載する

<http://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~epstate2/>

成績評価の方法

- 提出レポートの内容、および中間・期末試験の成績に基づき総合評価。
- 中間・期末試験は、それぞれ 6/3, 7/29 の本講義の時間帯に行う予定。

質問の受け付け

- 疑問等がある場合には随時積極的に質問に来ること。

教官連絡先

教官	: 倉本 圭 (流体系助教授)	播磨屋 敏夫 (流体系教授)
研究室	: 3 号館 313	405
電話	: 706-3567	706-3576 (内線の場合 706 は不要)
E-mail	: keikei@ep.sci.hokudai.ac.jp	harimaya@ep.sci.hokudai.ac.jp
HP	: http://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~keikei/	